



No.3087

第3405回例会

平成26年 8月27日

DISTRICT 2500

OBIHIRO ROTARY CLUB



方針 歴史と伝統、新たなページへ

会長 合田 倫佳



2014-15年度国際ロータリーのテーマ ロータリーに輝きを

■プログラム「移動例会」

・職業奉仕委員会

五十嵐 聖二 委員長



8月27日12時30分、ビート資料館に集合し、満寿屋商店代表取締役の杉山雅則様より講演を頂きました(満寿屋パンの64年の歴史、十勝の食材にこだわる取り組み等)。講演の後は麦音店に移動し、野外会場にて食事をとりました(サンドイッチの詰め合わせ、菓子パン、エビチリ、ローストビーフ等のおかずの詰め合わせ、スープ、コーヒーを頂きました)。特製のパンのお土産も頂きました。

食事終了後、有志でビート資料館を見学しました。見学は30分程で、館長の清水政勝様から、画期的な移植栽培方法(ペーパーポット)や製糖工程の説明について、丁寧な説明を受けました。様々な砂糖が抽出された後、最後に残ったビート糖蜜を純粋培養して栄養源となる生イーストや液状甘味料のビートオリゴ糖が出来る等、ビートはすべて無駄のない貴重な生産物との説明がありました。最後に天皇陛下行幸時の説明、製糖工場の内部を70分の1のサイズに再現した模型を見学し、終了しました。ビートの歴史や満寿屋パンさんの歴史は、どちらも十勝に深い関わりをもちながら歩んできたように思います。今一度その歴史を学ぶ事ができた貴重な時間でした。

・ゲスト卓話



株式会社満寿屋商店代表取締役社長 杉山 雅則 様

満寿屋商店(ますやパン)は、1950年に私の祖父が創業した会社です。ちなみに、ますやの「ます」は、創業者の母親である杉山ますの名前をとったものです。

資料1ページ目上段の写真は創業当時の店舗で、場所は現在の満寿屋本店の真向かいになります。しかし、45年くらい前にこの店舗は火事で全焼したため、現在の本店の場所に移りました。

当社が十勝産小麦を使う取り組みを始めたのは、父の時代の1989年です。当時、ある農家の方から「自分たちの作った小麦は、ますやパンに入っているのか」と聞かれて調べたところ、日本のパン業界で使われている小麦は殆どが外国産で、当社の場合も全て外国産でした。外国産小麦には、当時すでに残留農薬等の問題が指摘されていましたし、そもそも地元で小麦を作っているのに、地元の人が食べるパン

を遠い北米から運んできた小麦で作るというのはおかしい話です。そこで父は、地元の小麦でパンを作り地元の人に食べてもらうという、ごく当たり前のことを実現しようと考えたのです。父は1992年に他界しましたが、亡くなる直前まで地元の小麦によるパン作りに取り組んでいました。

当初採用した道産パン用小麦「はるゆたか」は十勝の気候に合わない等、さまざまな問題がありましたが、地道な取り組みを続けた結果、ようやく2012年10月になって、全店舗の全商品を十勝産小麦100%に切り替えることができました。ちなみに、日本全国に地場のベーカリーは多数ありますが、地域の小麦だけでパンを作っているのは当社だけです。

十勝には、小麦以外にもパンに使える食材がたくさんあります。当社の商品で一番売れているアンドーナツを例にとると、小麦のほか水、小豆、砂糖(ビート)、卵も100%地元産ですし、パンの発酵に使う生イースト(酵母)も日甜の清水工場で培養されたものを使っています。これが十勝農業の底力であり、これほど食に恵まれたところは他にありません。私は、この素晴らしい十勝の価値をもっと多くの人に知ってもらいたいと思い、「地産地消」に取り組んでいます。

今後の目標として、私は「2030年十勝がパン王国になる」というビジョンを掲げています。具体的には、まず年商5億円の店づくりに挑戦し、単独店舗の売上で日本一になることをめざしています。その理由は、「日本一のパン屋で売っているパンは十勝産小麦100%」となれば十勝産小麦の知名度が上がり、「使ってみよう」というベーカリーが増えるだろうと考えたからです。また、十勝産小麦の価値を高めるため、十勝産小麦でしか作れない「十勝パン」の商品開発に取り組んでいます。「十勝パン」を、「讃岐うどん」のようなご当地を代表する食べ物にすることができれば、TPPに参加しても十勝の小麦は生き残れると思います。

これから皆さまに食事をしていただく麦音店は、敷地面積2,400坪で、ベーカリーの単独店舗としては日本最大です。麦音店は、コメに比べるとなじみの薄い小麦をもっと身近に感じてもらえるよう、小麦畑のほか製粉用石臼とそれを動かす風車、水車を設置し、さらに厨房をオープンキッチン形式にすることで、小麦からパンができるまでの一連の過程を見られるようにしています。こうした仕掛けを通じ、来店される地元の方々に、自分たちの地域で育った小麦を食べているという実感を持ってもらいたいと思っています。



株式会社満寿屋商店
創業 1950年

株式会社満寿屋商店(ますやパン)とは
<http://masuyapan.com>

①創業1950年 パン製造販売会社
②小麦は十勝産100%で全商品のパンを製造
※1989年「はるゆたか」ゼンを製造・販売
③帯広市を中心にペーリー9店舗 従業員180名
④年間約400万 年間レジ客数100万人(十勝 人口35万人)

アンドーナツの地産地消
北海道・十勝がぎゅっつまったパン

あんこの
あずき
十勝産
100%

水
十勝産
100%

小麦
十勝産
100%

生イモ
十勝産
100%

たまご
十勝産
100%

さとうの
ビーツ
北海道産
100%

十勝の小麦でしかつけれない
十勝のパン屋しかつけれない
十勝の人が自慢するような
十勝パン

株式会社満寿屋商店(ますやパン)とは
企業目標
お客様と農家さんと私たちが
笑顔とよきこびに満ちあふれる
小麦王国十勝の心をつなぐ

「地元十勝と共存共栄を目指す」
「基幹産業・農業の主力生産物である小麦
パンの主原料である小麦
自給率が低いパン用小麦の価値を高めたい」

パンを通じて
十勝産小麦の価値の最大化を目指す

十勝産小麦100%にするのに
約23年かかりました

年次	十勝産小麦の割合
1950年(創業)	0%
1955年	10%
1960年	20%
1965年	30%
1970年	40%
1975年	50%
1980年	60%
1985年	70%
1990年	80%
1995年	90%
2000年	100%

ビジョン「2030年十勝がパン王国になる」
年商5億円の店づくりに挑戦

本日のゲストには、皆様ご存じの満寿屋商店(ますやパン)社長・杉山雅則様にきていただきました。パンに関するお話をうかがった後、隣のますやパン麦音店で昼食をいただく例会となっています。通常の例会とは勝手が違います、その違いもお楽しみいただければと思っています。

さらには例会後ではありますが、再びビート資料館に戻り、館長の清水政勝様から資料館のご説明をいただく機会を設けています。ご都合のつく皆様は是非、日甜さんの歴史、十勝における製糖の歴史をお楽しみいただければ幸いです。

本日の移動例会を満喫してください。

■会務報告

倉野 賢 幹事

①2014-15年度RI第2500地区 地区大会 開催のご案内

(詳細は別紙)

日 時 平成26年10月10日(金)～10月12日(日)

第1日目(10/10):記念親睦ゴルフ大会

8:30スタート 帯広国際カントリークラブ

第2日目(10/11):本会議第1日

9:00受付 10:00～帯広市民文化ホール

大会記念大懇親会 18:00～ ホテル日航ノースランド帯広

第3日目(10/12):本会議第2日

8:30受付 9:00～ 帯広市民文化ホール

②帯広RC、新会員オリエンテーション開催のご案内

日 時 8月28日(木)午後6時30分

場 所 十勝ガーデンズホテル

会 費 3,000円

対象者 入会3年未満会員(該当者には案内文郵送済)

③帯広RC、家族野遊会開催のご案内

日 時 9月7日(日)午前9時40分集合(現地集合)

場 所 帯広畜産大学馬場

バス出発 9時25分出発(希望者はノースランド9:15集合)

※尚、9月10日(水)の繰上げ例会と致します。

④帯広西RC、夜間例会開催のご案内

日 時 8月28日(木)午後6時30分

場 所 北海道ホテル

⑤帯広東RC、夜間移動例会開催のご案内

日 時 8月30日(土)午後6時30分

場 所 十勝星空ビアガーデン会場(名門ビル屋上)

※尚、8月26日(火)の繰下げ例会と致します。

⑥帯広北RC、家族野遊会開催のご案内

日 時 8月30日(土)午後5時

場 所 十勝川河川敷(北海道新聞花火大会会場)

※尚、8月29日(金)の繰下げ例会と致します。

■次週プログラム予定

9月3日(水)「会員卓話」

(プログラム委員会)

猿川 陽介 会員、森 光弘 会員

■麦音店長による説明



■麦音店での食事



■博物館外観



■博物館見学



■会長報告

合田 倫佳 会長



本日は、今年度初の移動例会です。職業奉仕委員会のご尽力により、日本甜菜製糖さんのご厚意でビート資料館を使用させていただくこととなりました。この場をお借りして、深く感謝申し上げます。



↑携帯サイトが
できました。
バーコードリー
ダーで読み込む
事ができます。

例会日 / 水曜日 12:30 ~ 13:30

例会会場 / ホテル日航ノースランド帯広 TEL0155-24-1234

●創立 / 昭和 10 年 3 月 15 日 ●認証番号 / 3820 ●戦後再開 / 昭和 25 年 12 月 19 日

●事務局 / 帯広市西 3 条南 9 丁目 経済センタービル 4F TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033

●発行 / クラブ広報

●委員長 / 飛岡 抗 副委員長 / 三浦輝世典

委 員 / 河村 知明・小林 一夫・横尾 俊輔・猿川 陽介

●ホームページアドレス / <http://www.obihoro-rc.jp>